



ロータリーの友地区委員

益田 照夫

(大阪中央RC)

毎月送られてくる「ロータリーの友」につきまして、皆さんはよくご存知のことと思いますが、はたしてそれが良く読まれているかと言いますと、いささか心もとないというのが一般的ロータリアンだとも思います。

その「ロータリーの友」はRIが認定した、地域雑誌です。その購読はロータリアンの会員身分保持の条件とされております。意義目的は、ロータリアンがロータリーライフを深める為のツールであり、所属するクラブが国際ロータリーと直結していることを認識出来るものでもあります。

編集に携わっている組織は、全国ガバナー会の管理下にある「ロータリーの友委員会」が管理運営しております。組織のメンバーは役員以下パストガバナーで成っております。それに、全国、全地区の現ガバナーの代理として任命された「友委員」34名が加わります。それらのメンバーが年5回、東京の「友」事務所に集まり、ガバナーの意向を伝えながら様々な討論、意見交換などをして、編集参加の形をとります。

「ロータリーの友」は1953年の創刊で既に50年を超えております。

創刊は戦後、日本のロータリーが1949年

に国際ロータリーに復帰後、東西2地区に分割されたのを期に1953年に発刊されました。東西のお互いの地区が連絡を密にして共通の奉仕を目指すことが目的とされました。それから50年、先輩ロータリアンのご苦勞のおかげで、現在のような内容豊富な雑誌になっております。世界、日本各地の様々な奉仕活動や、ニュース、各月それぞれのテーマにちなんだ情報や知識、毎月巻頭に記される奥深い文章など、心して読めば随分価値のある雑誌といえます。

現在この印刷媒体の「ロータリーの友」と同じく電子媒体である「ロータリージャパン」も地域雑誌としてRIは規定しております。

又、「ロータリーの友」へは投稿参加も自由に出来ます。年1回の「地区の紹介」、「くらぶ探訪 手に手」「ロータリーアットワーク」「友愛の広場」「卓話の泉」などたくさんあります。様々なクラブ、地域の情報を発信されたら良いと思います。

「友」への接し方は色々あります。まずは身近なものとして、見直して頂き、活用をされる事が「ロータリー」への理解を深めることにつながるでしょう。